

コイブキアザミ	<i>Cirsium confertissimum</i> Nakai	絶滅危惧Ⅱ類
(環境省:絶滅危惧Ⅱ類)		キク科
選定理由	狭い地域に局限されている。	<p>写真(高橋弘)</p>  
形態の特徴	茎は高さ50-120cm。根出葉は開花時には枯れて無い。茎葉は多数が密につき、羽状に深裂し、長さ10-18cm。頭花は上向きで、無柄かごく短い柄があり、茎や枝の先に密集してつき、直径1.5-2cm、小花は筒状花のみで赤紫色。総苞は筒形で、長さ約1.5cm、クモ毛がある。	
生態的特徴	石灰岩地の日当たりのよい草原に生育する。花期は9-10月。	
分布状況	伊吹山に固有で、岐阜県側にも分布する。	
減少要因	草地の踏み荒らし。	
保全対策	生育地の保全。	
特記事項		
参考文献		

文責:高橋弘